

# 令和4年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	29	学校名	大和広陵高等学校
----	----	-----	----------

## 1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	「手作りしおり」作成及び設置
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	第3学年における「手芸入門」の授業で実施。社会奉仕の精神の向上。学校図書館の運営に協力することで、生徒の健全な教養を育成すること。
連携・協働相手	広陵町立図書館
地域と共有している目標・課題等	社会奉仕の精神の向上。身近なことで生活に潤いを与え、地域に貢献できるという意識をもつこと。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
<p>昨年度から、本校生徒が手作りしたしおりを、地域の図書館に設置して活用していただく取組を行っている。昨年度は図書委員を中心に図書館活動として行っていたが、今年度は第3学年における「手芸入門」の時間でも取り組み、取り組む生徒の範囲を広げ、教育課程に位置付けて実施した。昨年度に、「生徒と地域の方が一緒に作る機会を設けられたら」と、広陵町立図書館からの要望があったが、今年度も新型コロナウイルス感染症予防の観点から実施できず、代表生徒が広陵町立図書館に設置した。</p> <p>しおりを設置した施設職員の方から感謝の言葉や助言をいただき、生徒のよりよく活動するための意識の向上につながった。</p>	

## 2. 事業の成果と課題

<p>生徒たちは、「自分たちがすることで誰かの役に立つことができる」という意識をもつことができた。このような活動が、生徒の自信の向上や自尊感情の育成につながった。また、しおりを活用してくださる地域の方々にとっても、本校や本校生徒のことを理解していただける好機になった。</p> <p>課題は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、地域の方と一緒に行う製作活動が難しく、取組の活性化をどのように図っていくかということである。</p>
--

